

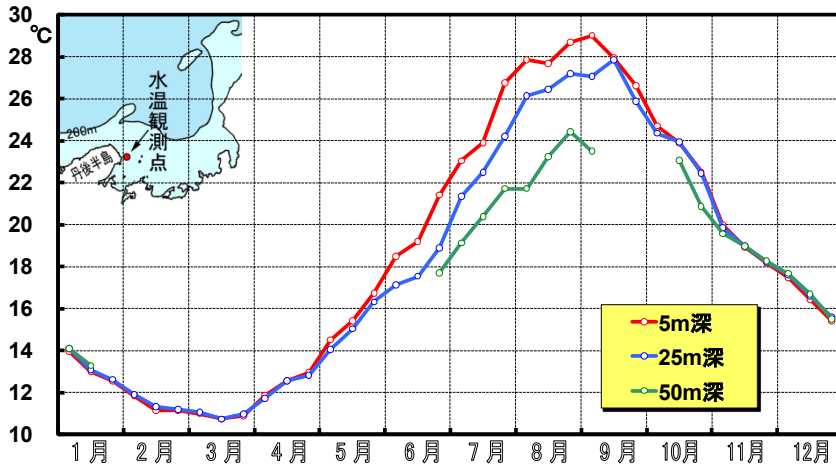
京都府漁海況情報

京都府農林水産技術センター海洋センター 海洋調査部
<http://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/>
 電話:0772-25-3078 FAX:0772-25-1532

海の状況 ～2010 年 1 月から 12 月まで～

表層では冬から春にかけて平年並み～平年より低めの水温で推移しましたが、夏には太平洋高気圧の勢力が強かった影響で平年よりかなり高水温となりました。秋以降には降温が進み、晩秋にはほぼ平年並みになりました。

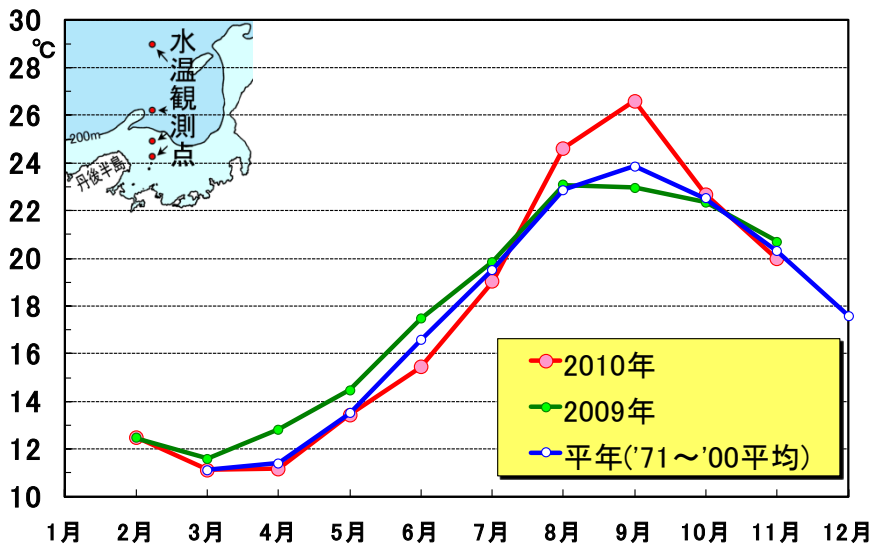
京都府沿岸(伊根町新井崎地先 海深 64m) の水温



月平均水温と平年差(括弧内)

単位: °C	5m 深	25m 深	50m 深
1 月	13.2(-0.4)	13.3(-0.5)	欠測
2 月	11.4(-0.2)	11.5(-0.4)	欠測
3 月	10.9(-0.5)	10.9(-0.7)	欠測
4 月	12.5(-0.5)	12.4(-0.6)	欠測
5 月	15.5(-0.5)	15.1(-0.5)	欠測
6 月	19.7(±0)	17.8(-0.8)	欠測
7 月	24.6(+1.1)	22.7(+0.6)	20.4(±0)
8 月	28.1(+1.9)	26.6(+2.2)	23.1(+1.3)
9 月	27.9(+2.2)	26.9(+2.5)	欠測
10 月	23.7(+1.0)	23.6(+1.0)	欠測
11 月	19.0(-0.7)	19.0(-0.7)	18.9(-0.7)
12 月	16.4(±0)	16.6(±0)	16.6(-0.1)

京都府沖合の表層水温(0～50m 深平均)



各月水温と平年差

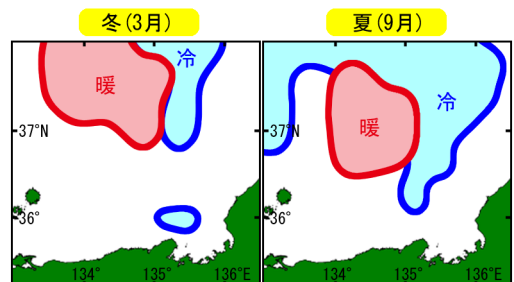
単位: °C	水温	平年差	評定
1 月			観測なし
2 月	12.5		データ過少につき評定なし
3 月	11.1	±0	平年並み
4 月	11.2	-0.2	平年並み
5 月	13.4	-0.1	平年並み
6 月	15.4	-1.2	かなり低め
7 月	19.0	-0.5	やや低め
8 月	24.6	+1.7	かなり高め
9 月	26.6	+2.7	はなはだ高め
10 月	22.7	+0.2	平年並み
11 月	20.0	-0.3	平年並み
12 月			観測なし

京都府沖合の水塊配置

資料元: (独)日本海区水産研究所

暖水域は、冬から夏にかけて山陰沖に留まっていますが、秋以降には東進して山陰沖から若狭沖に分布しました。

若狭沖の冷水域は、初夏にかなり接岸しましたが、他の期間については平年並みの勢力で推移しました。

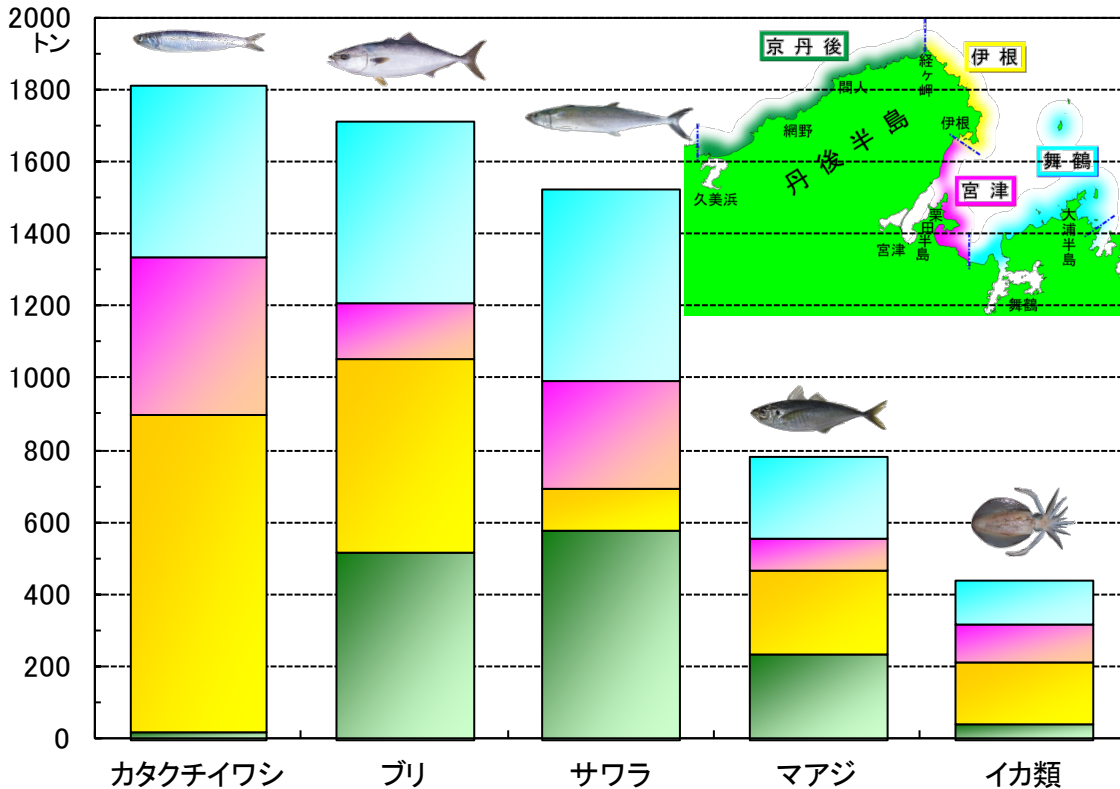


漁模様 ～2010年1月から12月まで～

【定置網漁業】

主要魚介類のうち、ブリやサワラは堅調な漁模様でしたが、カタクチイワシやマアジは不漁でした。全体では平年および前年を下回る水揚げでした。

2010年の地域別漁獲量(上位5魚種)

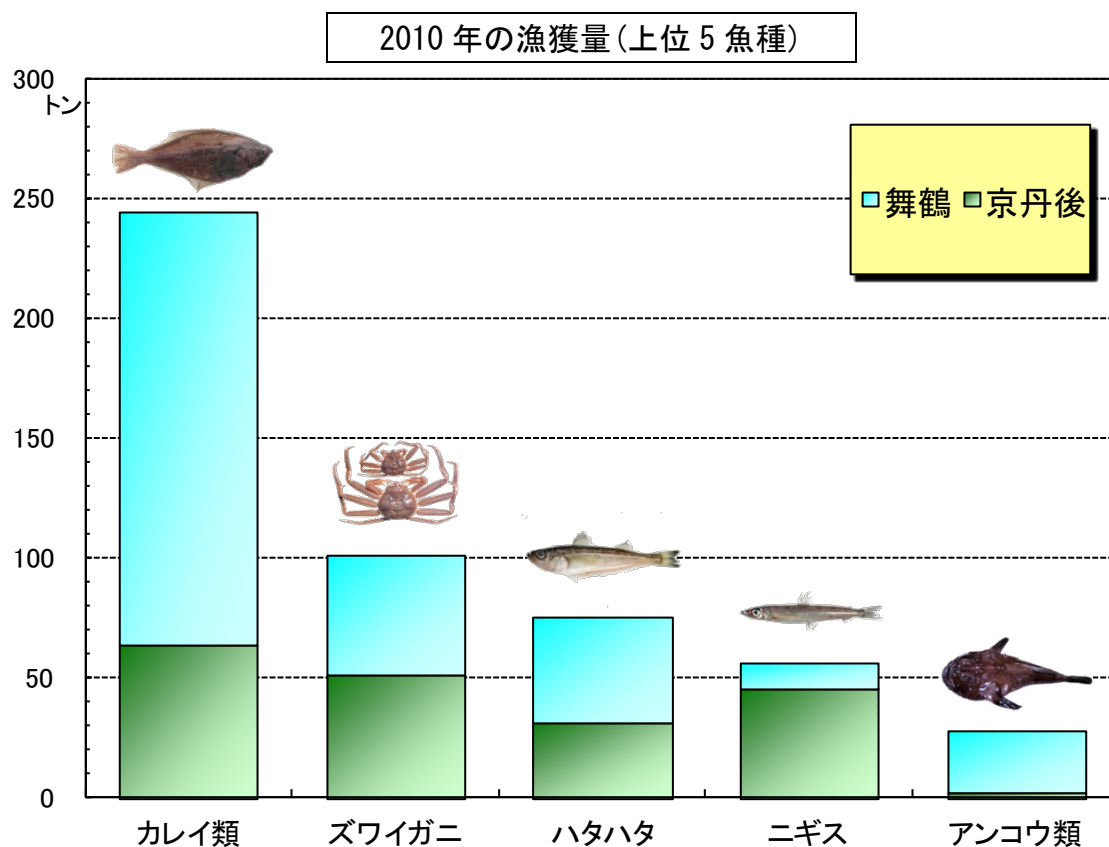


年間漁獲量(トン) 京都府漁連集計					
魚種	2010年	2009年(前年比)	平年(平年比)	備考	
カタクチイワシ(たれ)	1815	5071 (36%)	2828 (64%)	<カタクチイワシ> 混ぜり銘柄(カタクチイワシの他に小さなアジ類やサバ類、マイワシ等も混ざったもの)も含めて集計。 <ブリ> つばす銘柄が1116トン、はまち銘柄が155トン、まるご銘柄が19トン、ぶり銘柄が423トンでした。 <サワラ> さごし銘柄が1158トン、さわら銘柄が364トンでした。 <イカ類> アオリイカ(秋いか)が168トン、ケンサキイカ(白いか)が142トン、スルメイカが57トン、ソデイカ(たるいか)が42トン、ヤリイカ(冬いか)が20トンなどでした。	
ブリ	1713	1343 (128%)	1084 (158%)		
サワラ	1522	1598 (95%)	1238 (123%)		
マアジ	782	1743 (45%)	2212 (35%)		
イカ類	440	226 (195%)	505 (87%)		
シイラ	303	141 (216%)	222 (137%)		
カマス類	274	175 (157%)	193 (142%)		
カツオ類(そうだかつお)	270	228 (118%)	223 (121%)		
カワハギ(丸はぎ)	168	90 (186%)	102 (165%)		
ウマヅラハギ(長はぎ)	154	153 (101%)	134 (115%)		
その他	1268	1692 (75%)	1912 (66%)		
合計	8708	12460 (70%)	10652 (82%)		

平年は過去10年平均

【底曳網漁業】

ハタハタなどの落ち込みが影響し、全体では平年の約7割の漁獲量でした。



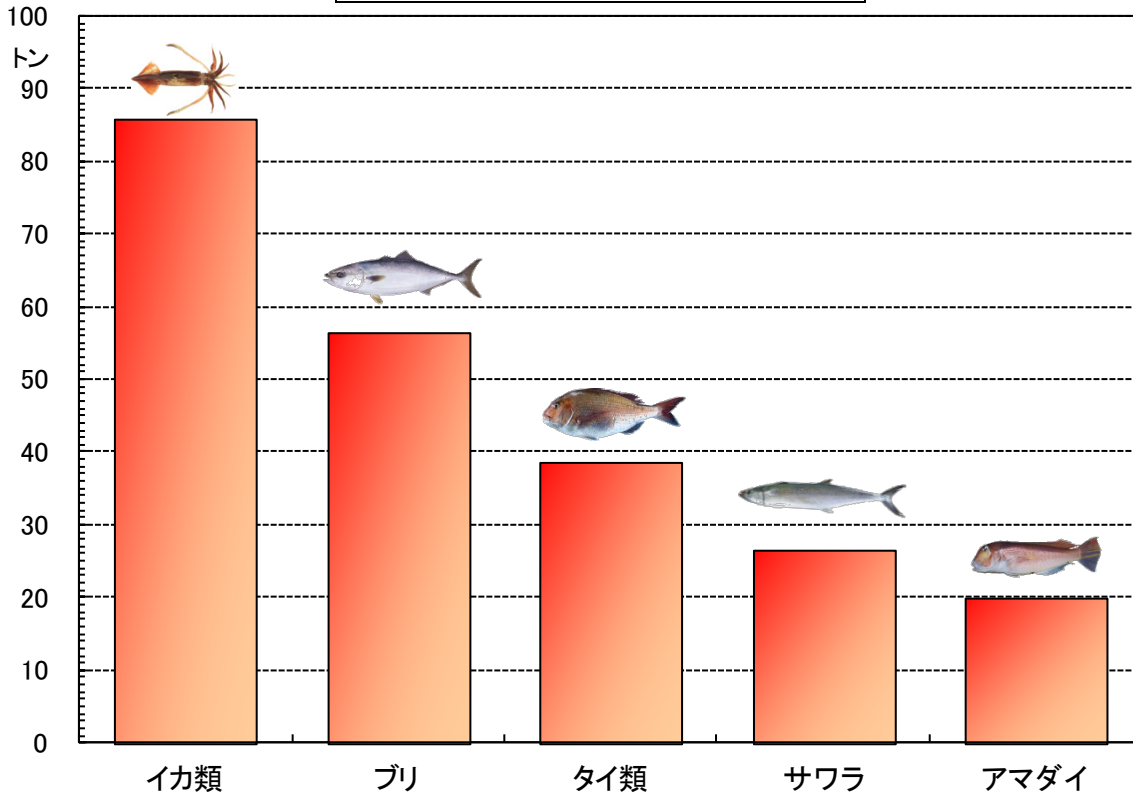
年間漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2010年	2009年(前年比)	平年(平年比)	備考
カレイ類	244.8	257.7 (95%)	251.7 (97%)	<カレイ類> アカガレイ(まがれい)が157トン、ヤナギムシガレイ(ささがれい)が22トン、ヒレグロ(黒がれい)が19トン、ソウハチ(えてがれい)が18トン、ムシガレイ(水がれい)が8トンなどでした。 <ズワイガニ> オス(松葉がに)が55トン、メス(せこがに)が46トンでした。
ズワイガニ	101.2	92.0 (110%)	126.4 (80%)	
ハタハタ	75.2	85.8 (88%)	204.0 (37%)	
ニギス(沖きす)	56.0	121.5 (46%)	117.0 (48%)	
アンコウ類	27.6	30.4 (91%)	29.1 (95%)	
貝類	10.0	9.3 (107%)	8.4 (120%)	
タコ類	9.4	13.7 (69%)	18.8 (50%)	
イカ類	9.3	5.6 (166%)	12.0 (77%)	
タイ類	7.4	8.3 (89%)	10.3 (72%)	
エビ類	6.1	11.1 (55%)	7.0 (88%)	
その他	41.9	39.6 (106%)	53.1 (79%)	
合計	589.0	675.0 (87%)	837.8 (70%)	

平年は過去10年平均

【釣り・はえなわ漁業】

全体では平年および前年の約8割の水揚げでした。



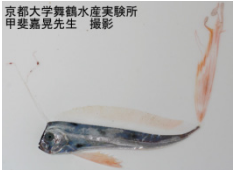



2010年の漁獲量(上位5魚種)



年間漁獲量(トン) 京都府漁連集計				
魚種	2010年	2009年(前年比)	平年(平年比)	備考
イカ類	85.8	76.5 (112%)	136.8 (63%)	<イカ類> スルメイカが35トン、ソデイカ(たるいか)が28トン、ケンサキイカ(白いか)が19トン、アオリイカ(秋いか)が2トンなどでした。
ブリ	56.4	118.0 (48%)	66.5 (85%)	
タイ類	38.5	34.1 (113%)	35.4 (109%)	
サワラ	26.5	47.6 (56%)	22.6 (117%)	
アマダイ(ぐじ)	19.9	22.5 (88%)	27.4 (73%)	
メバル類(もいお)	16.4	14.3 (114%)	15.7 (104%)	<ブリ類> つばす銘柄とはまち銘柄合わせて7割弱、まるご銘柄が2割強、ぶり銘柄が1割でした。
ウマヅラハギ	11.5	5.1 (225%)	10.3 (112%)	
メダイ(たいしょううお)	8.0	2.7 (294%)	6.7 (119%)	
アジ類	5.4	9.0 (60%)	9.3 (58%)	
スズキ	2.4	4.6 (53%)	7.3 (33%)	
その他	29.5	29.1 (101%)	42.8 (69%)	
合計	300.4	363.6 (83%)	380.7 (79%)	

平年は過去10年平均

【特異的なできごと】

一月	<ul style="list-style-type: none"> ・珍魚とされるリュウグウノツカイやサケガシラの仲間が各地の定置網に頻繁に入網。春先まで続く。 	
二月	<ul style="list-style-type: none"> ・メダイ(たいしょううお)が定置網を中心に好漁(1月～2月に平年比3.9倍の約66トン)。 	
三月	<ul style="list-style-type: none"> ・ウマヅラハギ(長はぎ)が定置網で好漁(3月に平年比17.6倍の約36トン)。 ・クロマグロ(体重10キロ前後主体)が定置網で好漁(3月に平年比27.6倍の約17トン)。 	
四月	<ul style="list-style-type: none"> ・カタクチイワシ(体長12～14cmの大たれ主体)が定置網で好漁(4月に平年比1.1倍の約659トン)。ただし、年間漁獲量は平年比6割強の1815トンと振るわず。 	
五月	<ul style="list-style-type: none"> ・クロマグロ(体重20～60キロ級主体)が定置網で好漁(5月～6月に平年比2.3倍の約17トン)。 	
六月	<ul style="list-style-type: none"> ・ウチワカンテンカメガイ(右写真は殻)が6月～7月に沿岸に出現。漁獲物の選別に手間取るほど大量入網した定置網もあった模様。 	
七月	<ul style="list-style-type: none"> ・宮津湾のトリガイ桁曳網漁が1日に解禁するも不漁で8日に漁期終了(市場水揚量は前3年比7%に満たない523個) ・ケンサキイカ(白いか)が定置網や釣りで好漁。(7月～11月に平年比1.9倍の118トン) ・サケガシラ属の幼魚(右写真)が各地の定置網に入網。 	 <p><small>京都大学舞鶴水産実験所 甲斐嘉晃先生 撮影</small></p>
八月	<ul style="list-style-type: none"> ・コシナガ(体重2～3キロ級主体)が定置網で好漁(8月～9月に平年比4.3倍の10トン) ・台風4号の日本海通過で急潮が発生し、府内10カ所の大型定置網被災。 	
九月	<ul style="list-style-type: none"> ・カマス類(アカカマス主体)が定置網で好漁(9月～11月に平年比2倍の178トン) ・バショウカジキが定置網で好漁(9月～10月に平年比4倍の42トン) 	
十月	<ul style="list-style-type: none"> ・アオリイカ(秋いか)が定置網で好漁(9月～11月に平年比1.6倍の約150トン) ・シイラが定置網で好漁(10月に平年比2.5倍の約177トン) 	
十一月	<ul style="list-style-type: none"> ・エチゼンクラゲは今季大量来襲せず。一部の定置網で散発的に少量の入網が確認されたのみ(前年10月下旬には大型定置一網あたり府内平均約1700個体の入網)。 ・カワハギ(丸はぎ)が定置網で好漁(10月～11月に平年比2.4倍の約143トン) 	
十二月	<ul style="list-style-type: none"> ・ブリ(平均体重約11キロ)が府内各地の定置網で豊漁。(12月としては近年最多となる平年比20倍の321トン) ・マアジとサバ類が年間を通して不漁。(マアジが平年比4割弱の782トン、サバ類が平年比2割の75トン) 	

【2010 年に見かけた珍しい魚】

下の写真は 2010 年に丹後の海で見られた珍しい魚の一例です。この夏の高水温の影響からか、夏から秋になじみのない南方系の魚を目にする機会が例年よりやや多かったような気がします。

<p style="text-align: center;">ペンテンウオ¹</p>  <p>体長：約 50cm 分布：日本近海では主に太平洋側 特徴：黒くて大きな背びれと尻びれを持ちます。深海性とされていますが、詳しい生態は不明です。</p>	<p style="text-align: center;">ヨコシマサワラ</p>  <p>体長：最大で 2m 以上 分布：南日本など暖海域表層 特徴：サワラの仲間で、体表にはしま模様があります。食用です。</p>	<p style="text-align: center;">イケカツオ</p>  <p>体長：約 50cm 分布：南日本など暖海域 特徴：体側に 2 列の暗色斑点が並んでいます。食の評価は低いようです。</p>
<p style="text-align: center;">ツマリトビウオ</p>  <p>体長：約 20cm 分布：南日本など暖海域 特徴：背びれの上方が黒い小型のトビウオです。</p>	<p style="text-align: center;">アヤトビウオ</p>  <p>体長：約 30cm 分布：南日本など暖海域 特徴：黄みを帯びた胸びれには暗色斑点があります。食用です。</p>	<p style="text-align: center;">ヤリヒゲ²</p>  <p>体長：約 40cm 分布：南日本など暖海域 特徴：腹部に発光器を持ち、水深 200m 前後の海底に生息します。練製品の原料になるようです。</p>
<p style="text-align: center;">アミウツボ²</p>  <p>体長：約 60cm 分布：南日本など暖海域 特徴：ウツボの仲間で、体の側面に暗色のしま模様と斑点があります。</p>	<p style="text-align: center;">オニアジ</p>  <p>体長：約 50cm 分布：南日本など暖海域 特徴：アジの仲間で、マアジよりも大きなぜいご(稜鱗)を持ちます。食用になります。</p>	<p style="text-align: center;">イトヒラアジ</p>  <p>体長：約 50cm 分布：近畿以南の暖海域 特徴：アジの仲間で、背びれと尻びれの一部が長く伸びています。食用になります。</p>
<p style="text-align: center;">ビンナガ²</p>  <p>体長：約 1m 分布：日本近海では主に太平洋側 特徴：マグロの仲間で、とても長い胸びれを持ちます。食用です。</p>	<p style="text-align: center;">キハツク²</p>  <p>体長：約 20cm(写真は幼魚) 分布：南日本など暖海域 特徴：幼魚時のみ背びれの一部が糸状に長く伸びています。食の評価は低いようです。</p>	<p style="text-align: center;">キンチャクダイ²</p>  <p>体長：約 25cm(写真は幼魚) 分布：南日本など暖海域 特徴：幼魚時には黒っぽい体色ですが、成魚になると青いしま模様が鮮明になります。</p>

1. 京都府漁連 撮影

2. 京都大学舞鶴水産実験所 甲斐嘉晃先生 撮影

あまりなじみのない魚を発見された場合には、当所までご連絡いただくと幸いです。